

一丸で守る

私たち女性消防官も



住民の安全・安心を守ります



私は、学生時代に各地で発生する災害を目にし、安全安心は当たり前ではないと考えさせられました。

そこで、生まれ育った青森市で、住民の安全安心な生活を守りたい、誰かの助けになる仕事がしたいと考え、消防士という職業を目指しました。

現在は、消防隊として火災や救助、救急現場など様々な災害へ出動するとともに、建物の防災・防火上の不備の改修を指導したり、立入検査を担当しております。市民から頼りにされる消防士となるよう努力するとともに、「女性だからできること」を考え、自分ができることから進めております。

私を含め5人の女性消防士とまだまだ少ないですが、安全安心の活動に必要な「女性だからできること」を、ぜひ青森消防と一緒にひろげていきましょう。

中央消防署 金澤消防士長（平成29年度採用）

私たちが勤務する中央消防署は、当消防本部が管轄する消防署の中で一番出動件数の多い消防署で、年間約2,000件出動しています。

育児休業等を経て、現在、救急救命士として勤務しています。

救急現場は多種多様で、迅速な判断と高度な知識、技術が求められます。的確な救命処置を行うため日々の訓練は欠かせません。救急隊の活動は、市民の方と接する機会が多く、とてもやりがいを感じています。

女性消防職員も活躍できる職場で、ぜひ一緒に働きましょう。



熊谷消防士（平成29年度採用）



齋藤消防士（令和2年度採用）

私は、傷病者に優しく寄り添い安心感を与えられる救急隊員になりたいと思い消防士を志しました。

現在は管轄内で発生した災害や、救急、救助を求める声に応えられるよう、消防隊や救急隊として活動しています。

消防士という職業は、最前線で人助けができ、人の役に立つということを実感できる、とてもやりがいを感じる魅力的な仕事です。

また、女性職員についても、救急救命士として活躍したり、大型機関員として災害現場へ出動したりと、幅広い分野で活躍しています。男性ばかりが活躍する職業と思われがちですが、様々な場面で、女性ならではの声掛けや、寄り添いに安心される方々も多くおり、活躍の場はたくさんあります。

消防士になって、私と一緒に頑張りましょう。

私は、地元である青森市の安全安心な街づくりに貢献したいと思い青森消防を目指しました。

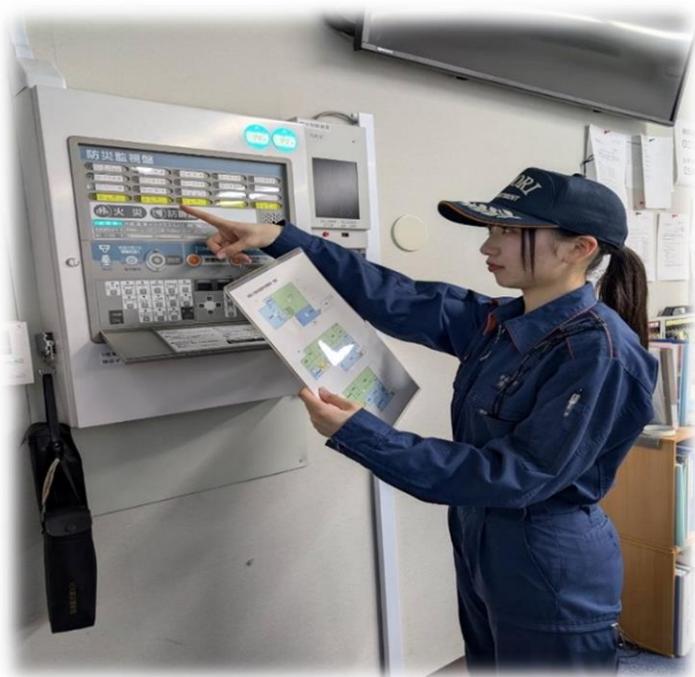
昨年度までは消防隊として、火災等の災害現場へ出動するなど現場活動を中心に勤務していましたが、今年度からは、消防本部予防課広報調査チームへ配属となり、火災原因調査や火災予防啓発活動、各種イベントの企画・立案・運営など様々な業務を行っています。

今までとは違い、慣れないデスクワークに追われ悪戦苦闘する毎日ですが、幼少年防火クラブや女性防火クラブ等の他団体と関わる機会も多く、女性が活躍しやすい業務も多々あり、その分やりがいを感じ、充実した日々を過ごしていると実感しています。

女性でも活躍できる場面は他にもたくさんあります。私と一緒に安全安心な街づくりを目指してがんばりましょう。



赤田消防士（令和2年度採用）



張間消防士（令和5年度採用）

私は、最前線で人の命を救う救急救命士になりたいと思い、消防士を目指しました。

現在は消防隊・救急隊として様々な災害へ出動するとともに、予防係として、建物に設置されている消防用設備の維持管理の状況や、避難経路の確認のために立入検査を行い是正指導をしています。

市民の皆様から頼りにされる消防士となれるように、常に学び続ける姿勢を持ち、女性だからこそ出来ることを考えながら、日々業務に取り組んでいます。

力仕事が多い仕事だと思われがちですが、女性でも活躍できる場面はたくさんあります。

青森消防は現在7人の女性消防士が在籍し、それぞれの特徴を生かしながら全員のびのびと働いています！女性だからと言ってあきらめず、私と一緒に地域住民の命はもちろん、安心・安全を守っていきましょう！